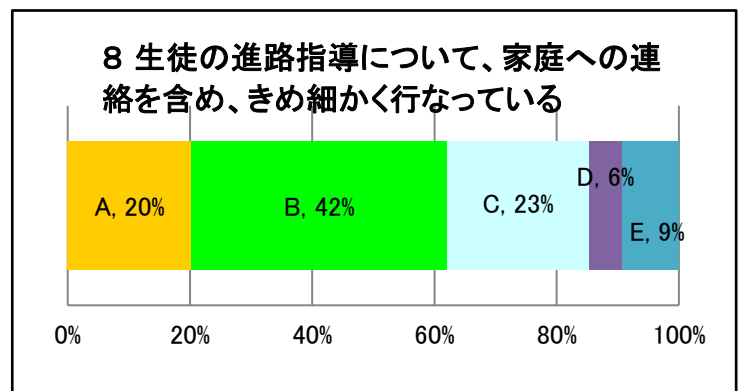
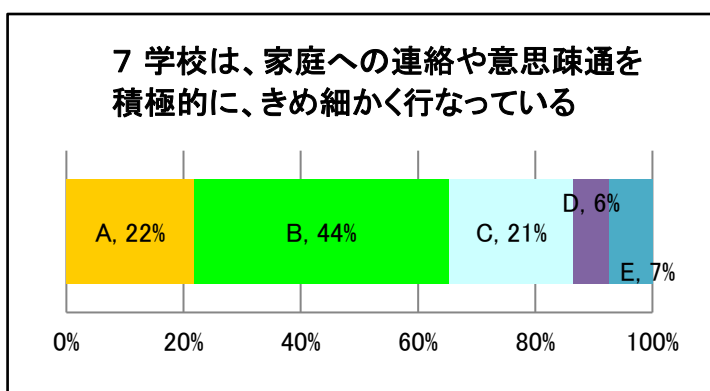
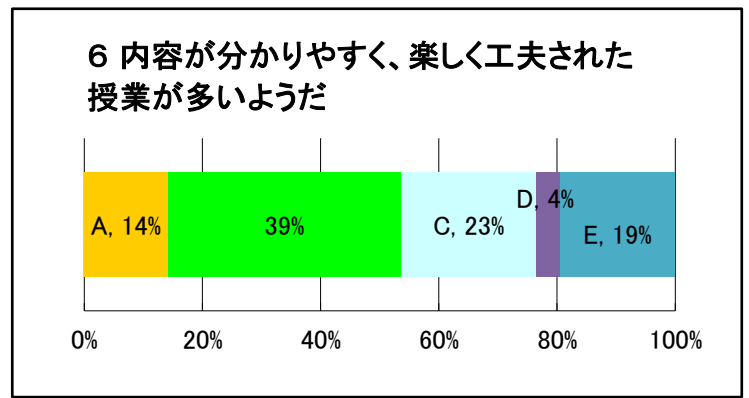
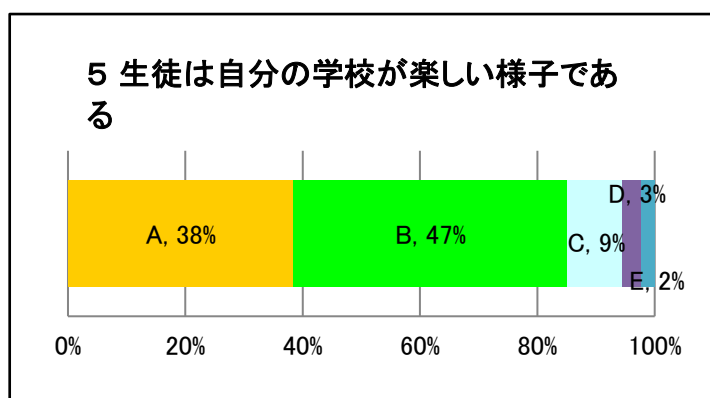
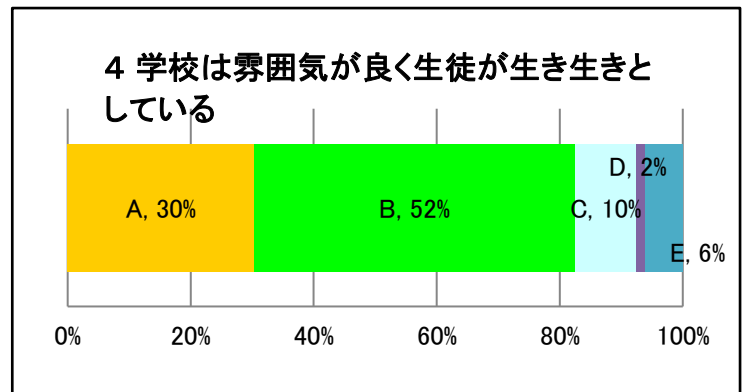
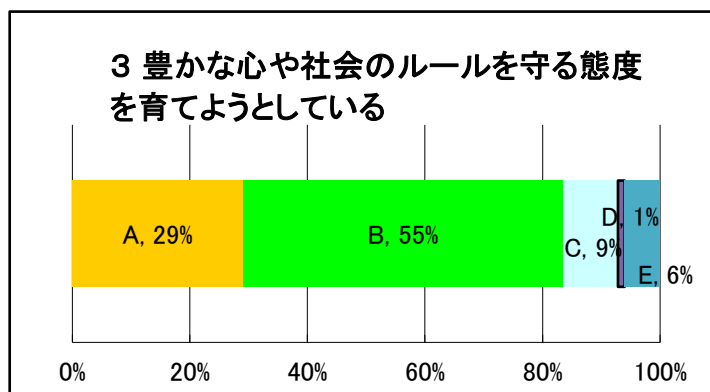
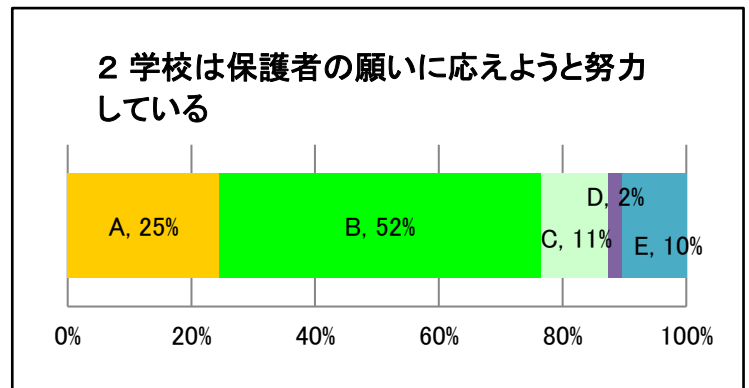
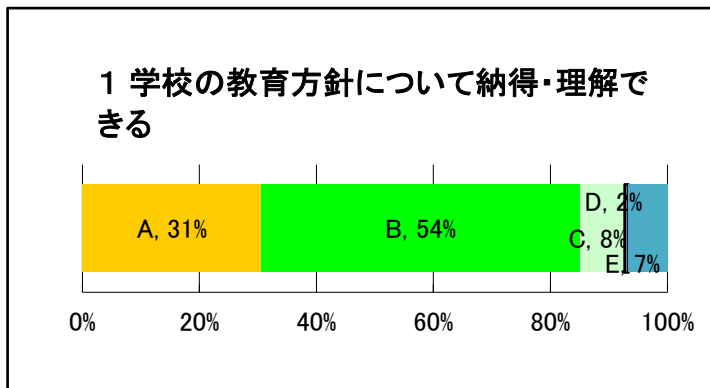


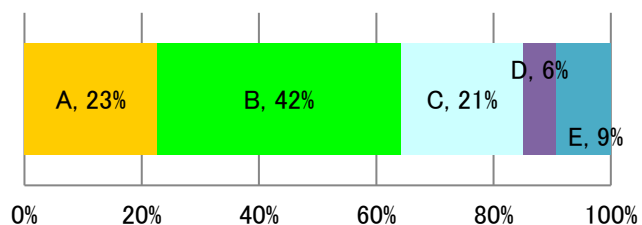
# 新潟県立新潟東高等学校 学校自己評価 H30年度 保護者アンケート結果（全保護者）

平成30年12月実施  
1～3学年全保護者対象  
回収率 79.7%

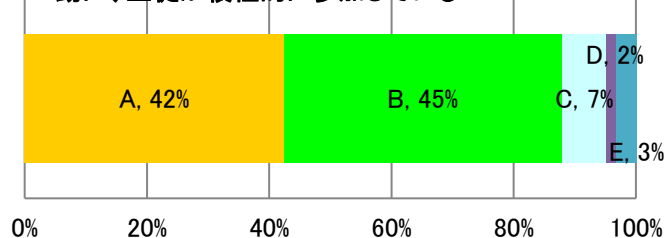
- 評価基準
- A よくあてはまる（または思う）
  - B ややあてはまる（またはやや思う）
  - C あまりあてはまらない（それほど思わない）
  - D まったくあてはまらない（または思わない）
  - E わからない（判断できない）



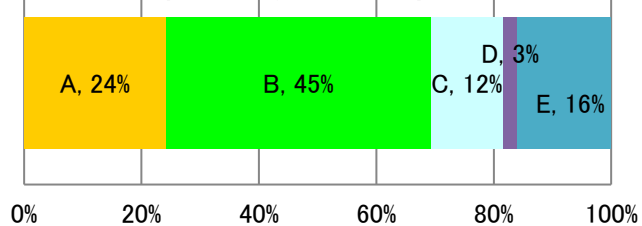
9 生徒の生活指導について、家庭への連絡を含め、きめ細かく行なっている



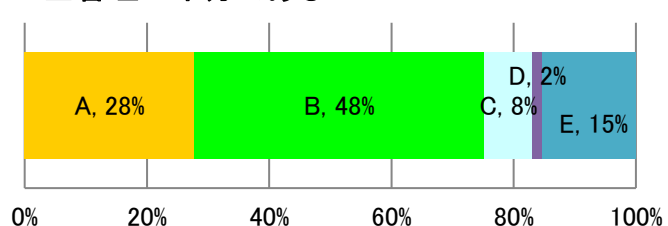
10 部活動、文化祭、体育祭、宿泊行事などの活動に、生徒が積極的に参加している



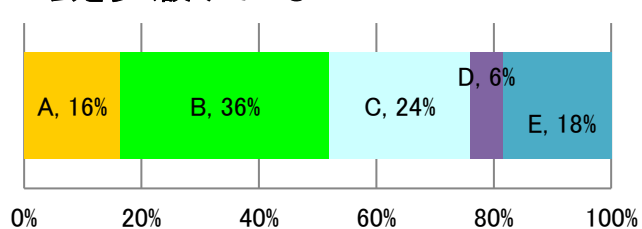
11 すべての教育活動において、生徒の人権を尊重する姿勢で指導に当たっている



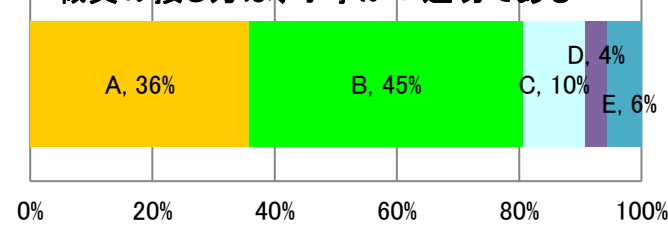
12 事故の防止に配慮し、施設・設備の安全管理が十分である



13 保護者や地域の人たちと話す機会を多く設けている



14 電話での対応や、来校時における教職員の接し方は、丁寧かつ適切である



## 保護者アンケート結果について（分析）

## 1 回収率

- 全体の回収率は79.7%（80.0%）、1学年は87.5%（85.6%）、2学年は67.1%（78.7%）、3学年は85.3%（75.5%）であった。※（ ）内は昨年度
- メール配信システムの導入により、学校から家庭への連絡がきめ細かくなるとともに保護者の配付物等への関心が高まったことが回収率の維持に影響していると考えられる。全学年メール配信システム登録保護者・生徒数は891件（598件）である。内訳は以下の通りである。（1学年：308件（278件） 2学年：338件（209件） 3学年：245件（111件））※（ ）内は昨年度  
今後もメール配信システムを有効に活用し、全学年ともに家庭への連絡や意思疎通を積極的に、きめ細かく行っていきたい。

## 2 「学校の教育方針について納得・理解できる」（質問項目1）

- 「よくあてはまる・ややあてはまる」と回答した保護者は全体で85%であり、全学年ともに8割以上の保護者が理解を示している。
- しかし、各学年それぞれ「分からない」と回答している保護者が5~9%いるので、今後も本校の教育方針や特色を浸透させていくためのさらなる取組が必要といえる。

## 3 「内容が分かりやすく、楽しく工夫された授業が多いようだ」（質問項目6）

- 「よくあてはまる・ややあてはまる」と回答した保護者は全体で53%であり、昨年度から8ポイント上昇した。しかし、1学年では44%にとどまり、約6割弱の保護者が「分かりやすく、楽しく工夫された授業が多いようだ」とは感じていない。また「分からない」と回答している保護者が全体で20%近くであり、公開授業等の実施や積極的な広報が必要である。
- 分かりやすく、楽しい授業づくりを目標とした授業改善を進めるとともに、生徒の授業アンケート結果を分析・公表して保護者に周知する必要がある。また、高1ギャップと呼ばれる1年生特有の不応状況があり、一人ひとりをきめ細かく見て個に応じた対応も必要である。一方で、県教育委員会の生徒の実態調査より家庭学習時間と「学校の授業が分かる」と回答する生徒の割合には相関があることから、家庭学習の指導と授業づくりの両方を同時に進めていかなければならない

## 4 「すべての教育活動において、生徒の人権を尊重する姿勢で指導に当たっている」

(質問項目11)

- 「よくあてはまる・ややあてはまる」と回答した保護者は全体で69%であり、昨年度から2ポイント上昇した。特に3学年では74%に登り、学年が上がるにつれ増加している。
- 人権教育講演会の保護者への呼びかけや、人権週間における人権教育LHR等の取組が浸透し、本校の人権教育に対する取組が理解、評価されているものとする。